

報告事項ウ

『県立高等学校重点校』制度』の創設について

『県立高等学校重点校』制度』の創設について、別紙のとおり報告します。

平成30年2月19日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

『県立高等学校重点校』制度』の創設について

平成 30 年 2 月 19 日

高等学校課

1 『県立高等学校重点校』制度』の概要

各高等学校が重点的に取り組むべき項目を県教育委員会が指定（重点校指定。各校 1～3 項目）し、予算を手厚く配分する（学校裁量予算独自事業でも優先的に配分）等の支援を行い、各高等学校の特色化・魅力化をより一層推進するとともに、以下に掲げる本県教育施策等の実現を図るもの。

- I 鳥取県の「教育に関する大綱」に掲げる取組方針・施策、指標達成の実現
- II 「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成 31 年度～平成 37 年度]」の具現化
- III 「高大接続改革」への着実な対応

※平成 29 年 9 月 13 日に実施要項を定め、平成 30 年度から実施。

※実施要項、各重点項目の定義及び平成 30 年度～平成 31 年度における各高等学校の重点項目は、資料 1 のとおり。

2 事業計画書等の公表

当該制度に係る事業計画書等を公表し、各高等学校の特色や県教育委員会の取組等について、広く県民に周知を図る。

(1) 公表内容

- ア 各県立高等学校の重点項目及び特色化に向けた取組（資料 2）
- イ 『県立高等学校重点校』制度』に係る平成 30 年度事業計画書（高等学校課ホームページに掲載）

※平成 30 年度における各高等学校重点項目に関する重点目標や数値目標、事業計画等を記載したもの。

(2) 公表方法

- ・報道機関への資料提供（平成 30 年 2 月 15 日）
- ・高等学校課ホームページへの掲載
- ・各高等学校ホームページへの掲載

鳥取県教育委員会『県立高等学校**重点校**』制度

目的

- 各高等学校の**特色化・魅力化のより一層の推進**
- 本県教育施策等の実現**を図る。
 - ①鳥取県の「教育に関する大綱」に掲げる取組方針・施策、指標達成の実現
 - ②「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針[平成31年度～平成37年度]」の具現化
 - ③「高大接続改革」への着実な対応

制度の沿革

- 平成30年度から導入**。平成29年9月に実施要項制定。
- 1校当たり1～3程度の重点項目を指定**（2年間）。

- ①大学進学 ②英語教育 ③基礎学力向上 ④アクティブ・ラーニング推進
- ⑤ICT活用教育 ⑥キャリア教育 ⑦専門人材育成 ⑧特別支援教育
- ⑨スポーツ・文化芸術活動 ⑩地域連携 ⑪県外生徒募集

- 成果検証の内容等を踏まえながら、指定の更新又は中止を決定

PDCAサイクルによる事業執行

<p>予算編成</p>	<p>○学校裁量予算独自事業の編成【学校→高等学校課】 (学校)重点項目の実現に向けた予算要求 (高等学校課)「重点校枠」の設定など重点項目の実現を支援</p> <p>○県教育委員会所管事業の編成【教育委員会】 ・重点項目に係る予算等(人員配置、施設等の整備を含む)を手厚く配分 ・新規事業(モデル校設置等)を実施する場合の対象校として指定</p>
<p>次年度計画</p>	<p>○次年度事業計画書の提出【学校→高等学校課】 (学校)予算要求状況を踏まえ、重点項目に関する重点目標や数値目標、事業計画等を記載した事業計画書を提出 (高等学校課)各校の特色化・魅力化や本県教育施策の実現に資する内容か確認の上、必要に応じて指導・助言</p>
<p>成果検証</p>	<p>○事業報告書の提出【学校→高等学校課】 (学校)数値目標の達成状況を含む成果や今後の課題を記載した事業報告書を提出 (高等学校課)必要に応じて、次年度事業の指導・助言を実施</p>

鳥取県教育委員会「県立高等学校重点校」制度実施要項

鳥取県教育委員会

1 目的

各高等学校が重点的に取り組むべき項目を県教育委員会が指定（重点校指定）し、予算を手厚く配分する等の支援をすることで、各高等学校の特色化・魅力化をより一層推進するとともに、以下に掲げる本県教育施策等の実現を図る。

- I 鳥取県の「教育に関する大綱」に掲げる取組方針・施策、指標達成の実現
- II 「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針 [平成31年度～平成37年度]」の具現化
- III 「高大接続改革」への着実な対応

2 重点校の種類及びその決定・更新について

各高等学校の重点項目は別表のとおりとし、県教育委員会と各高等学校で協議の上、1校当たり1～3程度の重点項目を指定する。

各重点項目の指定期間は2年間とし、4（2）の県立高等学校重点校制度に係る成果報告書（様式2）（更新前2年間分）の内容等を踏まえながら、指定の更新又は中止を決定する。なお、新たな重点校の指定は、指定前2年間の成果を踏まえて決定する。

3 重点校に対する支援

（1）学校裁量予算独自事業について

各高等学校の重点項目の実現に向けた事業に対する支援を行う「重点校枠」を設置するなど、積極的な予算配分を行う。

（2）県教育委員会所管事業（学校裁量予算独自事業を除く）について

各高等学校の重点項目の実現に向けた必要性、意義等が認められる事業等について、予算等（人員配置、施設等の整備を含む）を手厚く配分するとともに、新規事業（モデル校設置等）を実施する場合の対象校とする。

4 重点校に求める成果

（1）県立高等学校重点校制度に係る事業計画書の作成

本制度は、本県教育施策等の実現に向けた取組であることに鑑み、事業実施前年度の12月頃を目途に、各高等学校は、県教育委員会と重点項目に係る目標等を協議の上、県立学校重点校制度に係る事業計画書（様式1）を提出する。

（2）県立高等学校重点校制度に係る成果報告書の提出

事業実施年度終了後、各高等学校は、県教育委員会に県立高等学校重点校制度に係る成果報告書（様式2）を提出する。

（3）その他

各高等学校は、重点項目に関する各種関係会議への参加、成果発表などに協力する。

5 その他

この要項に定めるもののほか、「県立高等学校重点校」制度の運用に関し必要な事項は別に定める。

附則

この要項は、平成29年9月13日から施行する。

(別表)

平成30年度県立高等学校重点校に係る重点項目一覧

鳥取県教育委員会

重点項目	概要
大学進学重点校	国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程を編成するなど生徒の着実な学力の伸長を図り、生徒の進学希望を実現するため、進学実績を向上させる。
英語教育重点校	大学入試改革に向けた先進的取組や英語授業改革等、学校独自の特色ある取組を実施し、意欲ある生徒の英語力を更に伸ばす取組を組織的に行う。
基礎学力向上重点校	義務教育段階の学習内容を含めた高校生に求められる基礎学力の確実な習得と学習意欲の喚起を図るとともに、カリキュラム・マネジメントの確立を図り、その取組を体系化し他校に普及させ、県立高校教育の質の確保・向上を図る。
アクティブ・ラーニング推進重点校	次期学習指導要領の改訂や高大接続改革の動向を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の視点に立った授業の研究などを行い、全県立高校に向けての成果発信やモデル的取組の提案を行い、本県授業改革を推進する。
I C T活用教育重点校	タブレット型端末をはじめとしたI C T機器の特徴を生かし、授業等での積極的な活用に加え、県モデル事業の実践など先進的な取組を推進するとともに、学校C I Oを中心とした組織的な推進体制を構築し、他校への普及を図る。
キャリア教育重点校	学校の特色や地域の実状を踏まえつつ、子どもたちの発達の段階にふさわしいキャリア教育を推進し、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成する。
専門人材育成重点校	地域の産業界や教育機関等と連携し、社会で求められる多様な知識・技術や、専門的な資質・能力を生徒に習得させ、6次産業化など地域産業の担い手としての意識や自覚を育み、もって地域に貢献する人材を育成する。
特別支援教育重点校	各生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点で、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生徒に対する適切な指導及び必要な支援を行い、特別支援教育における県立高校の拠点となる。
スポーツ・文化芸術活動重点校	部活動の振興等を通して、生徒の個性の伸長や人間性の育成を図るとともに、目的意識の高い生徒の受入を推進するなど、特色ある学校づくりを一層推進する。
地域連携重点校	地域と学校が相互の資源等を学校の教育活動の中で最大限に活用し、これを教育の中に位置付けるとともに、体系的・組織的な取組として展開し、学校の特色化・魅力化を推進する。
県外生徒募集重点校	学生寮等を活用しながら、学校の求める生徒像に応じた、目標を持つ県外生徒をより積極的に受け入れることで、入学生徒を確保するとともに、学校の活性化を一層推進する。

各県立高等学校の重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
鳥取東	<p>★大学進学重点校 ★英語教育重点校</p> <p>■ <u>4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</u></p> <p>■ <u>他の普通科高校にはない特色の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内唯一の「理数科」を中心とした理数教育の充実 ・ グローバル化の流れや高大接続改革の動きにいち早く対応したディベート活動をはじめとする「英語教育（スピーキング）の充実」 ・ 「鳥取学」を中心に地元意識を醸成し、将来の鳥取県を担う意欲を持った人材を育成
鳥取西	<p>★大学進学重点校</p> <p>■ <u>4年制大学への進学など生徒の多様な進路希望を実現する教育課程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科進学校として幅広い知性と教養、豊かな人間性、思考力・表現力・判断力、協働する力等の学力を身につけた生徒の育成 ・ 文部科学省「スーパーグローバルハイスクール」指定校として、探究活動を通じて、生徒の相互理解能力や論理的思考力、情報活用能力などを育成 ・ 難関大学進学者の一層の増加
鳥取商業	<p>★専門人材育成重点校</p> <p>■ <u>マネジメント能力と経営感覚を養い、専門知識と経済活動全体への認識、目的意識を併せ持った地域を支える人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業学科単独校の強みを生かし、キャリア教育、アクティブ・ラーニング、グローバル教育などを商業教育と結び付けながら実施 ・ 鳥商教育の集大成であり、企画・運営・仕入・販売・決算までを行う学校行事「鳥商デパート」を実施
鳥取工業	<p>★専門人材育成重点校</p> <p>■ <u>東部地区工業学科の基幹校として、産業界のニーズに応じた深い知識・技術を身につけた技術者の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業に関する専門性を育む4科（機械科、電気科、制御・情報科、建設工学科）を設置 ・ 数ヶ月の間、学校の授業と企業での実習を並行して学ぶ「鳥工版デュアルシステム」の実施

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
鳥取湖陵	<p>★専門人材育成重点校 ★ICT活用教育重点校</p> <p>■<u>複数学科を有する強みを生かした地域産業の振興、地域の活性化に資する人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合選択制などの利点を生かした取組の充実。 ・県内唯一の情報学科を中心としたICT（特にタブレット型端末）を活用した取組の充実。 ・GAP、HACCPなどの導入による新たな農業教育の推進。 ・学校の取組を地域に発信する「湖陵フェスタ」の開催
鳥取緑風	<p>★特別支援教育重点校</p> <p>■<u>定時制課程（昼間、夜間）・通信制課程の特徴を生かした多様な学びの場の提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前部、午後部、夜間部の3部制で、他の部の授業を受けることにより、3年間で卒業することも可能。 <p>■<u>生涯学習の機会の提供</u></p>
青谷	<p>★地域連携重点校 ★ICT活用教育重点校</p> <p>■<u>東中部唯一の総合学科高校として、地元大学・短期大学への進学を中心に生徒の多様な進路を実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT（タブレット型端末等）を活用した授業の推進 <p>■<u>地域と連携した教育の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差した探究学習「青谷学」を中心に地元意識を醸成し、地域を支える人材を育成
岩美	<p>★地域連携重点校 ★基礎学力向上重点校</p> <p>■<u>地域に貢献できる学校であるとともに、地域の担い手を育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携・課題探究活動「イワッツ・ミッション」等を通じて、生徒一人一人に「社会で通用する実践力」を育成 <p>■<u>女子バレーボール、野球を核とした部活動の振興</u></p> <p>■<u>福祉類型における手話の取組の推進</u></p>

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
八頭	<p>★大学進学重点校 ★スポーツ・文化芸術活動重点校 ★県外生徒募集重点校</p> <p>■4年制大学への進学など生徒の多様な進路希望を実現する教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取環境大学教員による「探究ゼミ」の実施 <p>■充実した設備を生かしたスポーツ活動の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも数少ない体育コース設置校 <p>■ホッケー部・剣道部・柔道部における県外募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元八頭町と連携した県外生徒への住居費支援
智頭農林	<p>★専門人材育成重点校 ★地域連携重点校</p> <p>■少人数指導（学級）を生かした専門教育と特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内唯一の林業に関する学科（森林科学科）を設置 ・県版SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）事業やスーパー農林水産業士制度を活用した将来の地域を支える農林業人材を育成 ・特別な支援が必要な生徒の自立と社会参加を目指した「高校における通級による指導」の調査・研究を行うなど多様な生徒に対応
倉吉東	<p>★大学進学重点校 ★英語教育重点校</p> <p>■4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</p> <p>■コミュニケーション能力と課題発見・解決力を高める国際理解教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から単位制（進学重視型単位制）を導入し、適性、興味、関心に応じた進学希望に、より柔軟に対応 ・国内外の生徒とともに、設定した統一テーマについて調査・研究した成果を発表しあい、意見交換を行う「国際高校生フォーラム」を実施
倉吉西	<p>★大学進学重点校 ★キャリア教育重点校</p> <p>■4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</p> <p>■チャレンジグループ活動などのキャリア教育やふるさと教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの学問分野の中から自分が最も興味関心のある分野を1つ選択し、その分野に関して自分自身でテーマを設定して探究活動を進める「チャレンジグループ活動」を実施
倉吉農業	<p>★専門人材育成重点校 ★基礎学力向上重点校 ★県外生徒募集重点校</p> <p>■将来の本県農業を担う専門人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県版SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）事業やスーパー農林水産業士制度を活用した将来の地域を支える農業人材を育成 ・中国地方で唯一の文部科学省指定農業経営者育成高等学校として寮生活を通じて、自主・協力・責任を重んずる有能な人材を養成

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
倉吉総合産業	<p>★専門人材育成重点校 ★スポーツ・文化芸術活動重点校</p> <p>■<u>中部地区唯一の工業学科、商業学科、家庭学科を有する専門高校として、今後の地域産業を支える人材を育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・即戦力となる人材の育成（資格取得、教員指導力向上等） ・仕入れから販売まで、生徒が企画・運営するチャレンジショップ「くらそうや」の実施 <p>■<u>競技実績のある部活動の振興</u></p>
鳥取中央育英	<p>★スポーツ・文化芸術重点校 ★県外生徒募集重点校</p> <p>■<u>競技力向上を図り、トップアスリートを養成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも数少ない体育コース設置校 <p>■<u>単位制の特徴を生かして生徒の幅広い進路志望を実現する教育課程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域探究の時間」の成果発表会として、県内外の生徒とともに、「地域創造」をテーマにサミットを実施（地域創造ハイスクールサミット） <p>■<u>「緑風寮」を生かした県外募集</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入寮による恵まれた練習環境とトップアスリートの養成
米子東	<p>★大学進学重点校</p> <p>■<u>4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学・理科の分野を広く・深く学び、自然科学分野への興味・関心を深める生命科学コースを設置 ・平成30年度から単位制（進学重視型単位制）を導入し、適性、興味、関心に応じた進学希望により柔軟に対応 ・文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール」指定校として、科学的探究心・情報発信力・実践力を育成
米子西	<p>★大学進学重点校 ★スポーツ・文化芸術活動重点校</p> <p>■<u>4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究的な活動を通して地域と学問への理解を深める「みらいチャレンジ活動」の実施 <p>■<u>文化部を中心とした部活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全文化部の参加する文化部総合芸術祭「翠燦く」を開催

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
米子	<p>★地域連携重点校 ★アクティブ・ラーニング推進重点校</p> <p>■<u>地域連携を核としながら、総合学科高校として「生徒の多様な進路」を実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化など、地域の課題をテーマに地域住民と関わりながら解決策を提言する「米×米プロジェクト」を実施 ・授業改革の成果を実践・発表・普及する場として、県内外の教育関係者等に広く参加する「学びの文化祭」を開催
米子南	<p>★専門人材育成重点校</p> <p>■<u>西部地区を中心とした地域を支える専門人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立高校では唯一の調理師養成施設（調理コース）を設置 ・3年生の課題研究を中心に取り組みや研究の成果を発表する「米南学習活動発表会（みつばち学習発表会）」を開催
米子工業	<p>★専門人材育成重点校</p> <p>■<u>西部地区工業学科の基幹校として、産業界のニーズに応じた深い知識・技術を身に付けた人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械系、電気系、化学系、土木系、建築系の5分野が設置（機械科、電気科、情報電子科、環境エネルギー科、建設科）された県内唯一の工業高校 ・高校在学中の指導に基づく高い職場定着率 ・高校生ものづくりコンテスト、各種大会参加や課題研究を支援
米子白鳳	<p>★特別支援教育重点校</p> <p>■<u>定時制課程・通信制課程の特徴を生かした多様な学びの場を提供し、総合的に生徒を支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前部、午後部の2部制で、他の部の授業を受けることにより、3年間で卒業することも可能。 ・特別な支援が必要な生徒の自立と社会参加を目指した「高校における通級による指導」の調査・研究を行うなど多様な生徒に対応 <p>■<u>生涯学習の機会の提供</u></p>
境	<p>★大学進学重点校 ★スポーツ・文化芸術活動重点校</p> <p>■<u>4年制大学を中心とした生徒の進路希望を実現する教育課程</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2・3年次に特色ある教育課程を編成し、適性や進路希望に応じた科目選択が可能 <p>■<u>他の普通科高校にはない特色の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年多くの部活動が県代表として中国大会・全国大会に出場 ・地元境港市とも連携した地域を担う人材の育成（地域に根差した進学校）

高等学校名	重点項目及び特色化・魅力化にむけた取組
境港総合技術	<p>★専門人材育成重点校</p> <p>■<u>県内唯一の特色ある学科を中心とした地域を担う専門人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習船若鳥丸の保有（水産学科海洋科）、自動車整備士養成課程（工業学科機械科）、介護福祉士養成課程（福祉科） ・ 県版SPH（スーパープロフェッショナルハイスクール）事業やスーパー農林水産業士制度を活用した将来の地域を支える人材を育成 ・ 成果発表の場である「総合技術フェア」の実施、福祉施設と連携した「なかよしフェスティバル」の開催、土曜日を活用した地元イベントへの出店
日野	<p>★地域連携重点校 ★キャリア教育重点校</p> <p>■<u>日野郡3町と連携を密にしながら、「地域の学校」として地域を担う人材を育成するとともに、生徒の多様な進路を実現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を授業等に取り入れた多様な学びの実現 ・ 県外募集を通じた部活動の活性化 <p>■<u>少人数指導と寮活用による4年制大学進学を可能とする進学指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合進学系列における義務入寮及び夜間学習指導